



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月2日

上場会社名 アシードホールディングス株式会社  
 コード番号 9959 URL <http://www.aseed-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画グループ (氏名) 橋本 義徳

TEL 084-923-5552

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	21,314	2.1	603	3.4	673	12.0	424	14.4
29年3月期第3四半期	20,883	4.4	624	32.4	601	23.3	371	44.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 437百万円 (13.8%) 29年3月期第3四半期 384百万円 (69.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	34.22	
29年3月期第3四半期	29.70	

平成29年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

また、平成30年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有していないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	14,150	4,644	32.8	375.16
29年3月期	13,869	4,352	31.4	349.73

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 4,644百万円 29年3月期 4,352百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		4.00		4.00	8.00
30年3月期		4.00			
30年3月期(予想)				4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,200	0.4	620	10.9	610	11.2	310	38.6	24.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	13,495,248 株	29年3月期	13,495,248 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	1,115,201 株	29年3月期	1,050,661 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	12,414,855 株	29年3月期3Q	12,503,236 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、企業収益や雇用環境の改善により景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、個人消費につきましては節約志向が根強く残り、力強さに欠ける状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは企業のレゾン・デットルが高まるように、お客様に満足していただける製品・サービスを提供する「飲料製造リテイル事業」(SPA)への選択と集中を推進するとともに、収益性に重点を置いた事業構造の転換に取り組んでまいりました。海外事業では、現地のパートナー企業への資本参加や事業提携を通じて飲料ビジネスの拡大を図りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高21,314百万円(前年同四半期比2.1%増)、営業利益603百万円(同3.4%減)、経常利益673百万円(同12.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益424百万円(同14.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

## ① 自販機運営リテイル事業

自販機オペレーター(運営リテイル)業界におきましては、自販機ロケーションや設置台数の飽和状態が続くなか、業種・業態を越えた競争の激化や採用難による人手不足等により、事業環境は依然として厳しい状況にあります。

このような状況のもと、当社グループではアシード飲料自販機にカップコーヒー自販機とフード自販機を3台セットで展開する「スマートストア」の推進を図りました。飲料自販機とフード自販機をセットで展開するビジネスモデル(自販機でのコンビニ)につきましては、近年コンビニ各社が相次いで参入しており、市場は新たな広がりをみせております。当社グループでは、消費者ニーズに即した様々な高付加価値商品をワンストップで提供することで、他社との差別化を図ってまいります。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は12,713百万円(前年同四半期比5.5%減)、セグメント利益は255百万円(同25.5%減)となりました。

## ② 飲料製造事業

東日本を中心に低温・降雨などの天候不順が続きましたが、ブランドオーナーに対し企画・デザインから製造までを一貫して提案するODM(Original Design Manufacturing)が国内・海外ともに好調に推移しました。また、成長が続くRTD(低アルコール飲料)についても、高付加価値PB商品を中心に受注・売上が計画を大きく上回りました。なお、本年6月から新発売しました自社ブランドチューハイ「ASTER」は地域の特産フルーツを使用したプレミアムチューハイとしてシリーズ化(広島瀬戸田レモン、沖縄完熟シークワサー、和歌山ももの3種類)を図り好評を博しております。

この結果、飲料製造事業の売上高は8,367百万円(前年同四半期比16.6%増)、セグメント利益は522百万円(同12.5%増)となりました。

## ③ 飲料サービスシステム事業

近年のカフェブームやコンビニ・カウンターコーヒーのヒットにより本格コーヒー市場は緩やかな成長が続いております。このような状況のなか、遊技場等に対して店内のカップ飲料自販機で本格コーヒーが利用できる「アオンズ・カードシステム」の導入強化に取り組み、他社との差別化を図りました。

この結果、飲料サービスシステム事業の売上高は142百万円(前年同四半期比12.1%減)、セグメント利益は19百万円(同4.1%減)となりました。

## ④ 不動産運用事業

不動産運用事業による売上高は91百万円(前年同四半期比0.2%増)、セグメント利益は141百万円(同3.3%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、5,549百万円となり、前連結会計年度末に比べ293百万円増加いたしました。これは現金及び預金の増加96百万円、受取手形及び売掛金の減少60百万円及び商品及び製品の増加222百万円等によるものです。また、固定資産は8,600百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円減少いたしました。これは建物及び構築物(純額)の減少53百万円、建設仮勘定の増加189百万円、のれんの減少55百万円及び長期前払費用の減少129百万円等によるものです。

この結果、総資産は14,150百万円となり、前連結会計年度末に比べ280百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は7,446百万円となり、前連結会計年度末に比べ508百万円増加いたしました。これは買掛金の増加90百万円、短期借入金の増加270百万円、未払法人税等の減少51百万円、未払消費税等の減少45百万円、賞与引当金の減少64百万円及びその他の増加260百万円等によるものです。また、固定負債は2,058百万円となり、前連結会計年度末に比べ520百万円減少いたしました。これは長期借入金の減少454百万円及びリース債務の減少85百万円等によるものです。

この結果、負債合計は9,505百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,644百万円となり、前連結会計年度末に比べ292百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益による増加424百万円、自己株式の取得による減少45百万円及び剰余金の配当による減少99百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は32.8% (前連結会計年度末は31.4%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,027,429	1,124,322
受取手形及び売掛金	1,650,913	1,590,596
商品及び製品	1,173,201	1,395,849
原材料及び貯蔵品	220,407	191,054
前払費用	580,342	550,273
繰延税金資産	68,838	58,180
その他	543,972	648,817
貸倒引当金	△8,827	△9,172
流動資産合計	5,256,278	5,549,921
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	953,766	900,371
機械装置及び運搬具(純額)	326,444	345,489
工具、器具及び備品(純額)	19,035	17,253
土地	3,582,178	3,581,963
リース資産(純額)	1,296,397	1,275,098
建設仮勘定	11,649	200,872
有形固定資産合計	6,189,472	6,321,048
無形固定資産		
のれん	186,708	131,187
リース資産	36,787	32,889
その他	32,778	30,429
無形固定資産合計	256,274	194,506
投資その他の資産		
投資有価証券	828,069	818,599
長期貸付金	8,338	7,748
長期前払費用	871,829	742,682
繰延税金資産	142,767	114,875
その他	455,315	584,834
貸倒引当金	△138,470	△184,139
投資その他の資産合計	2,167,850	2,084,601
固定資産合計	8,613,596	8,600,156
資産合計	13,869,875	14,150,078

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,461,404	2,551,702
短期借入金	1,580,000	1,850,000
1年内返済予定の長期借入金	615,618	622,502
リース債務	481,590	497,602
未払金	747,667	774,096
未払法人税等	157,227	105,585
未払消費税等	157,012	111,230
賞与引当金	119,167	55,054
その他	618,676	878,700
流動負債合計	6,938,364	7,446,473
固定負債		
長期借入金	1,043,026	588,203
リース債務	1,094,551	1,009,321
繰延税金負債	5,903	10,969
再評価に係る繰延税金負債	34,464	34,464
役員退職慰労引当金	104,975	104,975
退職給付に係る負債	127,318	125,258
資産除去債務	2,800	2,800
その他	165,967	182,823
固定負債合計	2,579,007	2,058,816
負債合計	9,517,371	9,505,289
純資産の部		
株主資本		
資本金	798,472	798,472
資本剰余金	1,012,778	1,012,778
利益剰余金	3,538,687	3,864,146
自己株式	△542,832	△588,232
株主資本合計	4,807,105	5,087,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,720	44,967
土地再評価差額金	△490,212	△490,212
為替換算調整勘定	10,639	2,618
その他の包括利益累計額合計	△454,852	△442,626
新株予約権	251	251
純資産合計	4,352,503	4,644,788
負債純資産合計	13,869,875	14,150,078

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	20,883,705	21,314,671
売上原価	12,992,544	13,684,989
売上総利益	7,891,160	7,629,681
販売費及び一般管理費	7,266,462	7,026,308
営業利益	624,698	603,372
営業外収益		
受取利息	3,878	557
受取配当金	6,813	6,349
持分法による投資利益	21,870	30,737
不動産賃貸料	4,774	4,644
投資事業組合運用益	—	8,536
受取賃貸料	7,700	6,985
受取保険金	1,514	61,375
その他	23,397	18,579
営業外収益合計	69,949	137,766
営業外費用		
支払利息	61,494	54,241
その他	31,588	13,048
営業外費用合計	93,083	67,290
経常利益	601,565	673,848
特別利益		
固定資産売却益	9,566	191
投資有価証券売却益	20,683	17,926
特別利益合計	30,250	18,117
特別損失		
固定資産売却損	49	—
固定資産除却損	6,271	27,698
減損損失	37,692	215
特別損失合計	44,013	27,913
税金等調整前四半期純利益	587,802	664,053
法人税、住民税及び事業税	193,134	203,274
法人税等調整額	23,362	35,962
法人税等合計	216,496	239,236
四半期純利益	371,305	424,817
親会社株主に帰属する四半期純利益	371,305	424,817

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	371,305	424,817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,548	20,246
為替換算調整勘定	△1,067	△43
持分法適用会社に対する持分相当額	△19,675	△7,977
その他の包括利益合計	12,805	12,225
四半期包括利益	384,110	437,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	384,110	437,043

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,457,502	7,172,861	161,964	91,376	20,883,705	—	20,883,705
セグメント間の内部 売上高又は振替高	38,385	519,092	653	116,776	674,907	△674,907	—
計	13,495,888	7,691,954	162,617	208,152	21,558,613	△674,907	20,883,705
セグメント利益	342,961	464,606	20,480	137,248	965,297	△340,598	624,698

(注) 1. セグメント利益の調整額△340,598千円には、セグメント間取引消去△649千円、のれんの償却額△7,522千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△332,427千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、有形固定資産(所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産を除く)の減価償却方法について、従来、定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)については定額法)を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間から定額法に変更しております。

これにより、従来の方法によった場合と比較し、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は、それぞれ「自販機運営リテイル事業」で2,016千円、「飲料製造事業」で16,059千円、「飲料サービスシステム事業」で8千円、「不動産運用事業」で3,224千円、「調整額」で108千円増加しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,713,672	8,367,024	142,444	91,529	21,314,671	—	21,314,671
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39,723	438,982	472	115,993	595,172	△595,172	—
計	12,753,396	8,806,006	142,917	207,523	21,909,843	△595,172	21,314,671
セグメント利益	255,428	522,629	19,648	141,797	939,504	△336,132	603,372

- (注) 1. セグメント利益の調整額△336,132千円には、セグメント間取引消去1,813千円、のれんの償却額△7,522千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△330,423千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。